

美しい多摩川フォーラム・令和元年度総会議事録

- ・日 時 : 令和元年5月25日(土)9:30~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、平野副会長報告に続いて議事に入りますが、第1号議案では平成30年度事業決算(案)、第2号議案では令和元年度事業計画・同予算(案)、第3号議案では、運営委員・監事の選任(案)についてご協議を頂きます。後半は、臨時運営委員会を挟んで、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱、臨時運営委員会の結果報告、ダニエル・カール副会長による特別講演、意見交換を予定しており、終了は午前11時40分頃となります。なお、広報用にビデオ撮影と写真撮影をおこないますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・令和元年度総会を開会いたします。私、申し遅れましたが、本日の司会進行役を務めさせていただきます渡辺と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局) 多摩川フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。始めにご報告がございます。当フォーラム運営委員で丹波山村の船木良教村長が4月22日に急逝されました。心からご冥福をお祈りいたします。

本日は、当フォーラム1,437会員中、委任状による代理人出席を含め183会員が出席され、書面議決書提出の会員数を加えて、合計806会員ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。本日の資料の確認ですが・・・(省略)。

(司会) それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。先ほど、船木さんご逝去の報告がありましたが、船木さんには美しい多摩川フォーラムに並々ならぬご協力をいただきました。本当に残念ですが、私たちは前に進んでいかなければなりません。

今日は土曜日で、とても良い天気です。神様が総会を祝福してくださったのかもしれませんが。令和は万葉集から引用されたと聞いております。実は、我々のシンボルである多摩川が、東歌にあります。若い女性が、清らかな多摩川の水に白い布をさらし、なんと爽やかで生き生きとした情景なのだろうかと詠っています。多摩川は古代から地域を潤してくれました。我々はその清らかな多摩川をこれからも守っていかなければならないと改めて感じます。今日は11時40分までの長丁場ですが、よろしく願いいたします。また、今日は井上衆議院議員をはじめ、ご来賓の方にご挨拶をいただきますが、よろしく願いいたします。それでは、令和元年度総会を始めます。

3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、フォーラムの顧問をお願いしている衆議院議員の井上信治様にご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしく願いいたします。

(井上信治様) 皆さんおはようございます。ここ昭島市や西多摩選出の衆議院議員井上信治です。細野会長をはじめとした会員の方々、青梅信金をはじめとした関係機関の方々、皆さまの努力によりまして、私たちの心のふるさとでもある多摩川を美しく保存し、地域で利活用していく、そんな美しい多摩川を実現し、子どもたちや孫たちの世代にも伝えていこうという素晴らしい理念のもとに経済や教育文化、環境など、様々な分野にわたって様々な事業を実践していただいていることに、心から敬意を表したいと思います。私もいつもこの総会にお招きいただき、色々なお話をさせてもらっておりますが、やはりこういった活動というものは、多くの皆さまが一人一人ご努力いただき、長く続けていくことが大切だと思っておりますので、ぜひこれからもよろしく願いしたいと思います。

今日はちょっとこの場をお借りして、宣伝でもあるのですが、ひとつお話をしたいと思っております。私たち、実は去年から、多摩川を遡上する江戸前アユを復活させようという運動に力を入れております。今日お越しの国土交通省京浜河川事務所、農水省や東京都、関係自治体、漁協の皆さんたちと協力し、昨年、江戸前アユを実現する協議会を、私が座長になりまして、発足いたしました。多摩川のアユは、ここ70年ほどの間に、ダムや施設の整備が進んで、もちろん魚道も作っているのですが、なかなか遡上することができなくなりました。ここ最近、「江戸前アユ1000万匹遡上」というニュースも出たのですが、実はそれは、本当に下流のほうだけで、私たちが住む西多摩にはなかなか上がってくることができません。魚道が土砂の堆積でふさがってしまったりする場合など、きめ細かいところもしっかり見ていきたいと思っております。アユが遡上できれば、上流域でも多くの釣り人が楽しむことができ、子どもたちが水遊びをして魚と触れ合うことができる、そんな環境をつくることができると思って取り組んでおります。

何が言いたいかと申しますと、やっぱり私たちの多摩川ですから、そういう意味では、色々な方が、色々な立場で色々な努力をして、みんなで協力して実現していきたいということでありまして、美しい多摩川フォーラムの活動にも心から期待しておりますので、ぜひこれからも頑張っていただきた

と思います。大変恐縮ですが、今日はこのあと行事が重なっておりますので、これで失礼いたします。この度の総会、誠におめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。ただいまお話がありました通り、井上衆議院議員におかれましては、ご公務のためご退席されます。続きまして、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所統括地域防災調整官の中村修也様にご挨拶をお願いいたします。

(中村修也様) 皆さんおはようございます。美しい多摩川フォーラムの総会開催にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。本来であれば、所長の澁谷がご挨拶を申し上げるところですが、所用により、私のほうから代理でご挨拶させていただきます。

昨年は、多摩川改修100周年ということで、色々なイベントをさせていただきました。その中で、「多摩川改修100年パネルリレー」を行い、多摩川の治水や利水、環境に関する歴史などを地域の皆様に知っていただきました。源流から河口までの多摩川流域29の自治体でパネル展を実施しました。関係者の皆さまには多大なるご協力をいただき、この場をお借りして御礼を申し上げます。京浜河川事務所は多摩川の管理をしておりますが、美しく素晴らしい、安心安全な多摩川を作っていくには地域の皆さまの活動が必要不可欠だと思っております。今後とも、美しい多摩川フォーラムの皆さまと連携しながら、より良い多摩川づくりに携わっていきたく思いますので、よろしくをお願いいたします。簡単ではありますが、ご挨拶に代えさせていただきます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、11月に開催される多摩川カヌー駅伝大会の主催6市を代表して青梅市長・浜中啓一様に、ご挨拶をお願いいたします。

(浜中啓一様) 皆さんおはようございます。ただいま、「多摩川カヌー駅伝大会の6市を代表して」とご紹介いただきましたが、美しい多摩川フォーラムの総会にお招きいただきまして、心から御礼を申し上げます。昨年もカヌー駅伝大会を開催し、今年で4年目になりますが、私は青梅市カヌー協会の設立者でありまして、長い間、カヌー競技など様々な角度で指導してきました。平成25年には多摩国体があり、御岳でカヌー競技をおこないました。今は、東京オリンピックのカヌーコースが江戸川区の葛西臨海公園に作られ、現在は水が流されたところで、コースは着実にできておりますが、そういう事に関しても視察をさせていただいております。私は今でもカヌーの組織と繋がりが、また、地域のスポーツとして、多摩川を利用した活動もさせていただいております。第1回多摩川カヌー駅伝大会には私も選手として参加させていただきましたが、第2回、第3回目は体力的な面で参加できませんでした。これからも、色々な面で、美しい多摩川フォーラムの皆さんと接していきたいと思っております。また、私は多摩川が大好きなので、多摩川と繋がっていきたく思います。奥多摩友愛会というNPO法人を設立したのも私ですが、昔らしい多摩川をつくるというもので、河口のアユが青梅や奥多摩まで自然に遡上できるような、自然環境を取り戻す活

動をしております。今年も5月の新緑祭では、子どもたちが江戸前アユを放流しました。多摩川漁協から稚鮎を5万匹取り寄せ、河辺のグランドから放流し、上流へ遡上させるというものです。現状では、魚道があっても整備されておらず、稚鮎が青梅市まで遡上できないという問題があります。昔の多摩川に戻すには、我々が力を合わせて改善していかないとはいけないと思っておりますので、これからも色々な角度で、美しい多摩川フォーラムの皆さんと力を合わせて、多摩川をさらに素晴らしい川、またはふるさと、または思い出に残るような自然環境を作っていく必要があるのではないかと常日頃から思っているところであります。本日は、美しい多摩川フォーラムの総会が無事終了し、皆さま方とまた共に活動できることをご期待申し上げまして、挨拶に代えさせていただきます。本日はおめでとうございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・久保輝幸様に、ご挨拶をお願いいたします。

(久保輝幸様) おはようございます。多摩川下流域の自治体を代表してご挨拶を申し上げます。私は大田区の蒲田から、朝7時の京浜東北線～青梅線を乗り継いでまいりました。本来であれば、松原大田区長よりご挨拶を申し上げるところですが、あいにく他の公務と重なっており、代理でご挨拶させていただきます。

本日は、美しい多摩川フォーラム令和元年度総会の開催、おめでとうございました。5月1日より令和元年になり、美しい多摩川フォーラムの皆さまにおいても、新たな門出となることをご期待するとともに、会の一層の発展を心よりお祈り申し上げます。多摩川下流域においても、美しい多摩川100年プランで提唱されている経済・環境・教育文化の3本柱を主軸とした様々な取り組みが、多くの団体のもと展開しており、その結果として地域社会の活性化に繋がっているところです。この美しい多摩川フォーラムの活動等により、多摩川の下流域でも年々水質が改善されており、アユやトビハゼが多く生息していることが確認されていると聞いております。水辺には、カモやサギ等、50種類を超える鳥類が飛来する等、豊かな自然環境も形成されています。この多摩川の自然環境の向上には、美しい多摩川フォーラムの皆さまの日頃からの周辺活動をはじめ、美しい多摩川100年プランとして進めている多くの活動の成果が結実したものと感じております。大田区は、昨年度、多摩川河川敷で清掃活動をおこないました。約2000名の区民が参加し、ゴミや投棄物の回収をおこなうことができました。また、区民が水辺に親しむ活動として、水辺の楽校があります。現在、羽田と鶴の木に2校の楽校がございますが、3校目となる「矢口のわたし水辺の楽校」が新たに加わります。カヌー教室をはじめ、川流れの体験や、干潟での環境学習、自然体験、清掃活動をしており、多摩川に親しむ活動が、ますます充実してきたところです。

ここで、少し大田区のPRをさせていただくと、大田区では、多摩川の河口に位置する羽田空港跡地において、空港に隣接した高度なものづくり技術を有する小中企業が集積しています。これを最大限に生かすため、世界と地域を繋ぐゲートウェイとして、官民連携により人・物・情報を呼び込み、新産業の創造と日本各地域の魅力を国内外に発信する新たな産業創造、発信拠点の形成を目

指しています。また、水辺と緑に囲まれた都市公園や親水空間の整備による憩いと賑わいの場も創出していきたいと考えております。昨年度、多摩川沿いに区民の憩いの場となる「ソラムナード羽田緑地」の整備をおこないました。3月31日の開園式には、細野会長ご出席のもと、美しい多摩川フォーラムより寄贈された3本のカンヒザクラの苗木を松原区長とともに植樹させていただきました。どうも有り難うございました。この緑地は、空港を飛び立つ飛行機や自然あふれる多摩川を同時に楽しめる空間となっております。皆さまも、大田区にお越しの際にはぜひ足を運んでいただけたらと思います。美しい多摩川は、世代を超えて地域と行政が連携協力して守っていかねばならない大切な河川であると思っております。最後に、美しい多摩川フォーラムの益々のご発展と、皆さんのご健勝を祈念して、多摩川下流域自治体を代表してのご挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して狛江市議会事務局長・小川啓二様に、ご挨拶をお願いいたします。

(小川啓二様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、狛江市議会事務局長の小川と申します。本来であれば、松原俊雄狛江市長がご挨拶させていただくところですが、実は、本日5月25日は狛江市にとって特別な日であります。今から74年前に空襲があり、小学校や民家が消失する大変痛ましい歴史がございます。そのため市内では、平和を祈念する行事がおこなわれており、松原市長はどうしてもそちらに出席しなければならず、くれぐれも皆さま方にはよろしく伝えてほしいということで、祝辞を預かってまいりました。私のほうで代読させていただきます。「美しい多摩川フォーラムの総会が、このように盛大に開催されますことに心からお祝いを申し上げます。狛江市は、面積が全国で2番目に小さな市でございます。このコンパクトさを生かし、地域における市民と市民の顔の見える関係を通した、優しい街づくりを進めているところでございます。この、顔と顔の見える関係づくりを推進するにあたりまして、多摩川という、かけがえのない資源が大きな力となっているところでございます。狛江市の夏の風物詩であります、『狛江古代カップ多摩川いかだレース』、冬には『こまえ初春まつり』を開催しており、中でも『狛江古代カップ多摩川いかだレース』は、多方面から関心、注目をいただける大会に成長し、昨年の第28回大会には、19の地域から86チームがエントリーする等、非常に多くの方々にご来場いただき、活気あふれる大会を開催することができました。この多摩川いかだレースは、ここ10年連続して美しい多摩川フォーラム号に出場いただき、ダニエル・カール副会長を先頭に、美しい多摩川フォーラム関係者の皆さまにご参加いただき、大会を大いに盛り上げていただいております。この場をお借りしまして厚く御礼を申し上げます。また、多摩川流域12自治体で実施しているイベントラリーにつきましても、美しい多摩川フォーラムから多大なるご支援をいただいております。重ねて感謝を申し上げます。

さて、美しい多摩川フォーラムにおかれましては、「多摩川夢の桜街道」、「多摩川酒蔵街道」、「多摩川カヌー駅伝大会」をはじめ、多摩川の魅力を的確に捉えた、まさに目を見張るような事業を

次々に展開され、多くの方々に夢と希望を与えています。私も運営を担う一員として、さらなる事業の推進に向けて、ぜひお手伝いをさせていただきたいというふうに考えているとともに、皆さま方の実践活動のノウハウ等を学ばせていただきたいと感じております。本日の総会のご盛会を機に、今年度につきましても、素晴らしい活動ができますよう、心から期待を申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。令和元年5月25日」粕江市長代読。本日はおめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して、羽村市産業環境部長・橋本昌様に、ご挨拶をお願いいたします。

(橋本昌様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、羽村市産業環境部長の橋本と申します。本来であれば、並木市長が駆けつけ、お祝いと感謝の気持ちを伝えなければならないのですが、公務が重なっており、皆さま方にくれぐれもよろしくお伝えするように申し付かってまいりました。ご容赦いただきたいと思っております。

まずもって、美しい多摩川フォーラムの令和元年度の総会が、このように盛会に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃から、羽村市の行政運営につきましてもご支援をいただき、心より感謝申し上げます。羽村市は多摩川上流域に位置しており、河口から約50キロ遡った、青梅市の隣に位置するコンパクトな街でございます。羽村の堰、玉川上水の取り入れ口があり、また、根がらみ前水田では今でも稲作が行われている、多摩川の深い歴史と暮らしぶりが残る街です。桜まつりやチューリップまつり等、多くの皆さま方に外からお越しただいて、非常ににぎわっておりますが、これも、多摩川の素晴らしい水や緑、景観があつてこそだと考えておりまして、羽村市としてこれからも美しい多摩川フォーラムの設立の趣旨に賛同し、共に街づくりを進めていきたいと市長も申しておりました。本日の総会が、盛会に開催されますこと、また、美しい多摩川フォーラムが発展繁栄していきますことを切にご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移りたいと思っております。前にお座りの役員の皆様は、お席をご移動ください。

4. 経過報告（ビデオ放映）

(事務局) それでは、経過報告をさせていただきます。本日は、多摩川フォーラムの活動報告として、ビデオ2本にまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。なお、定例事業等については、お手元資料の3ページをご参照いただければと存じます。

(ビデオ放映)

- (1) 多摩川カヌー駅伝大会2018&ウォークラリー
- (2) 第10回“美しき桜心の物語”の語り会

(事務局) いかがでしたでしょうか。役員の皆さまは、元のお席にご移動ください。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、当フォーラムのホームページにビデオレターというコーナーがあり、動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。また、facebook 等にも活動を掲載しておりますので、ご覧いただくことができます。

以上で経過報告を終わります。

5. 平野副会長報告

(司会) さて、本日は平野啓子副会長にご出席をいただいておりますので、“美しき桜心の物語”の語り会や「多摩の物語」の語り会に毎回ご出演されてみてのご感想やフォーラムに期待することなどについて、一言お願いします。

(平野副会長) 皆さんおはようございます。2つ目の映像にありました桜の語り会と、秋に開催する「多摩の物語」の語り会については私の責任の中で開催しております。一昨年、多摩川フォーラムが10周年を迎え、これらの活動を、美しい多摩川100年プランに沿って長く続けていくにはどうしたら良いのかを考えました。私自身がこれから100年も生きられませんか、かと言って6歳6月6日の子どもを語り部として育てるにも無理がありますので、私と歳の近い後輩に出演してもらい、繋いでいけたらと思いました。今年初めて、私の語りの後輩2人に出演してもらいました。私の名前を継いでくれる、平野啓花(ひらのけいか)と平野啓奈(ひらのけいな)です。啓花さんには万葉集をやってもらいました。映像を見て、「どこかで見たことがあるな～」と思いませんでしたか？実は今日司会を務めている渡辺理恵さんです。毎年多摩川フォーラムの総会の司会をしています。いま私のところで語りの勉強をしてもらっていて、プロとしてデビューもしています。桜の語り会では、桜にちなんだ「桜子」の話をやってもらいました。もう一人の啓奈さんには「花咲か爺さん」をやってもらいました。善人が花を咲かせる話は多摩川フォーラムにピッタリだと思って語ってもらいました。折しも4月1日は新元号発表の日で、令和は奇しくも万葉集から引用されたものでした。「桜子」は万葉集の桜、「令和」は万葉集の梅ですが、桜も梅もバラ科の花で仲間ではないかと思っています。桜にちなんだ素敵な話が沢山ありますので、これからも伝えていきたいと思っています。桜を見て美しいと感じるためには、川が綺麗でなければなりません。ですので、多摩川を綺麗にする想いも繋いでいければと思います。

秋に開催する「多摩の物語」の語り会ですが、多摩川流域に残る民話を掘り起こし、2冊の冊子に収録されています。細野会長が冒頭のご挨拶で触れていましたが、「多摩川にさらす手作りさらさらになにそこの児のここだかなしき(かなしき=可愛い)」という歌が万葉集で詠われています。「こんなに美しい布のように、この子はなんて可愛いのだろう」という意味です。これは現在の調布市や布田の“布”として残る、布づくりを詠んだ歌です。もうひとつ、こんな歌もあります。「赤駒を山野にはかし 捕りかにて 多摩の横山 かしゆか 遣らむ」これは、「赤駒(赤毛馬)をうっかり取り離してしまい、捕まえることができないので、多摩の横山(多摩丘陵)を歩いていかなければならない」という意味です。せっかくこんなに素敵な歌があるので、9月に開催する「多摩の物語」の語

り会は、万葉集を取り上げたいと思います。場所は私が住んでいる府中市の、新しくできた「バルトホール」で開催します。府中市の花は梅です。せっかくだから、大宰府の「梅花」の歌も含め、その序文にあたり、令和の典拠となった「初春の令月にして 気淑く風和ぎ……」の部分もやってみたいと思います。「多摩の物語」の語り会には語り部が沢山出演し、若い人もいますので、今風のラップ調にしてみたり、ピコ太郎風にしてみたりと、色々と考えたいと思います。メインは武蔵野新田開発に寄与した府中市のお代官様、川崎平右衛門の物語をたっぷり30分と、そして先ほどお話した万葉集を30分お届けします。過去と現在、そして多摩川フォーラムが進める未来を繋いでいく設定になるようなイベントにしたいと思いますので、多くの方に参加していただきたいと思っています。

(司会) どうも有り難うございました。

6. 協 議 (議長:細野会長)

(司会) これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしく願いいたします。

(細野会長) 細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思いますので、ご協力のほど、よろしく願いいたします。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

(1)第1号議案:平成30年度事業決算(案)

(事務局) それでは、資料1ページ目の第1号議案:平成30年度事業決算(案)をご覧ください。多摩川フォーラムは平成29年度に10周年を迎え、平成30年度につきましては、次の10年に向けてしっかりとした基盤を固めるべく、基盤の再構築に注力しました。具体的に申しますと、まず、「多摩川夢の桜街道」に関しては、札所の見直しを実施しました。これに伴い、携帯マップ、そして「多摩川夢の桜街道」公式ホームページを改訂致しました。

本件は、朝日新聞やTBSラジオ等でタイムリーに紹介され、その効果もあって「多摩川夢の桜街道」公式ホームページの3月中旬から4月中旬のアクセス数は、前年比約3倍に増加しました。また、多摩川一斉水質調査につきましては、全調査地点の見直しを実施、新たな調査地点を確定し、整備致しました。「フォーラム・御岳の森」につきましては、木柵老朽化のため改修工事をおこない、毎年人気の高い「炭焼き体験と水辺の交流会」が安全に実施できるように整備しました。なお、「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに関しては、携帯マップ改訂の内容を当初の想定よりも充実させたこと、また、「多摩川夢の桜街道～桜の札所」のリニューアルを記念してホームページに掲

載するため、ドローンを活用した多摩川空撮映像を桜にフォーカスして編集・制作したことにより、当初の計画より上振れしております。

さて、平成30年度決算の監査ですが、資料の2ページ目をご覧ください。5月13日に、当フォーラム監事の館盛和様、同じく山崎真義様より監査を受け、監査報告書を頂いております。

それでは、監事を代表して館様にご報告をお願いいたします。

(館監事) 只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成30年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告いたします。

令和元年5月13日に、平成30年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願いいたします。(拍手)…。有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案:令和元年度事業計画・同予算(案)

(事務局) はい、資料4ページ目の第2号議案:令和元年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,900,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫より8,000,000円、同じく青梅信用金庫より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、委託金として青梅市より250,000円を予定しており、前期繰越金4,094,971円と合わせて合計では14,344,971円となります。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,400,000円、各種活動費として8,086,000円を計上しております。なお、10周年記念事業の一つとして実施している「多摩川夢の桜街道」の札所見直しに伴う「多摩川夢の桜街道」公式ホームページ改訂については、当初の計画どおり令和元年度予算に計上しております。多摩川一斉水質調査・項目拡充とありますが、川の魚に有害とされる亜硝酸態窒素の調査を安定的に実施するため、計測器、試薬、備品を購入し実施する計画です。また、各事業報告としてビデオに纏めたビデオレター制作費につきましては、引き続き、撮影から編集まで完全内製化し、経費削減に努める計画です。この結果、次期繰越金見込額は2,858,971円となり、合計では14,344,971円となります。

資料5ページ目は、令和元年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心となります。補足説明をさせていただきますと、まず、経済軸の多摩川酒蔵街道は第6回目を迎え、毎年恒例となった「はとバスツアー」や「JRお座敷列車」が好評を博すなど、定着しつつありますが、さらにこの運動を活性化するため、スタンプラリーの導入を検討しております。

環境軸の多摩川一斉水質調査につきましては、昨年度、渡邊部会長、山崎運営委員のご協力の

もと、多摩川一斉水質調査全75地点の現況確認調査を実施、調査地点の見直しをおこないました。その結果を踏まえ、新たなスタートを切りたいと考えております。多摩川“水”大学講座については、引き続き小倉副会長にお願いし、令和元年度は8年目となります。府中市と共催します。教育文化軸では、参加者から評価の高かった、平野副会長とお弟子さんたちによる「多摩の物語」の語り会を計画しております。資料6ページ目は令和元年度主な活動予定、資料7ページ目は令和元年度・会議の予定になります。以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願いいたします。(拍手)…。有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

(3)第3号議案:運営委員・監事の選任(案)

(事務局) 資料8ページ目の第3号議案:運営委員・監事の選任(案)をご覧ください。フォーラム規約第7条5項によりまして、現運営委員、監事の皆様におかれましては、本日で任期満了となりますので、議案にあるとおり、今後2年間の任期の運営委員・監事の選任(案)をご提出いたします。私からの説明は以上です。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆様の方からご質問はありますでしょうか。…。もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願いいたします。…。有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。以上で、全ての議案が承認されましたので、事務局にバトンタッチします。有り難うございました。

(司会) それでは、このあと、別室にて、臨時運営委員会を開催し、会長選出等のご協議を頂きますので、運営委員、監事の皆様におかれましては、事務局でご案内いたしますので、ご移動をお願いいたします。臨時運営委員会開催の間、会員の皆様におかれましては、暫らくの間、休憩となりますが、10時40分にはご着席いただきますよう、お願いします。

7. 臨時運営委員会開催<休憩時間中に開催>

(事務局) 只今より、臨時運営委員会を開催いたします。細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長) 早速ですが、フォーラム規約第7条3項によりまして、新会長の選出を行いたいと存じます。新会長の選出にあたり、ご意見をお持ちの方、あるいは立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。…。それでは、どなたかご推薦を頂けませんでしょうか。

(平野副会長) はい。引き続き細野先生に会長をお願いしたいです。

(細野会長) 有り難うございました。平野様より引き続き私、細野をご推薦頂きました。他にご推薦、ご意見等ありますでしょうか。…もしないようでしたら、私、細野でご承認頂けますでしょうか。(拍手)…有り難うございました。フォーラムの会長を引き続き私が担当させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、フォーラム規約第7条4項により、会長の私から副会長をご指名させていただきます。副会長には、東京農工大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・かたりすと、大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の平岡治房様をお願いしたいと存じます。顧問、アドバイザーの皆様におかれましては、引き続きよろしくお願いいたします。なお、部会長は引き続き平野啓子様、渡邊勇様、藪田雅弘様の3名の方をお願いしたいと存じますので、よろしくお願いいたします。副部会長には、引き続き堤香苗様、山崎充哲様、小野木様のご後任である図師真吾様をお願いしたいと存じます。お三方にはよろしくお願いいたします。

(事務局) 以上で臨時運営委員会を終了いたします。このあと、皆様には総会会場の方へお移り頂ければと存じます。

8. 「多摩川の歌」ほか合唱(三多摩青年合唱団)

(司会) 皆様お待たせいたしました。それでは、美しい多摩川フォーラムのテーマソングでもある「多摩川の歌」を、三多摩青年合唱団の歌声に乗せてお届けしたいと存じます。三多摩青年合唱団は、結成されてはや56年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。それでは、よろしくお願いいたします。

…… 合 唱 ……

(1) 多摩川の歌

(2) 花(喜納昌吉)

(司会) 皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。うっとりするような「多摩川の歌」でしたね。フォーラムでは、引き続き、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。それでは、以上をもちまして、「多摩川の歌」の合唱を終ります。改めて、三多摩青年合唱団の皆さんに温かい拍手をお願いいたします。

9. 臨時運営委員会の結果報告

(事務局) 只今開催された臨時運営委員会におきまして、フォーラム規約第7条3項により、会長が選任されました。また、規約第7条4項により副会長も指名されました。その結果をご報告いたします。会長には、引き続き中央大学名誉教授の細野助博様、副会長には、引き続き東京農工

大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・かたりすとで大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の平岡治房様が就任されました。

次に、3つの活動部会についてですが、フォーラム規約第14条3項および4項により、引き続き平野副会長、渡邊運営委員、藪田運営委員が各部会長に就任されました。部会長をサポートする副部会長には、引き続き堤運営委員、山崎運営委員、図師運営委員が就任されました。

ここで、細野会長に一言、お願いいたします。

(細野会長) 新しい役員が決まりました。引き続き私が会長を務めさせていただきます。先ほど平野副会長のお話にも、後進を育ててバトンタッチしていかれると説明がありました。私たちもそうです。100年プランで美しい多摩川フォーラムが終わるわけではありません。多摩川は悠久の流れをたたえています。谷川先生の詩にもありますが、ほとぼる山の生命力を持っている美しい多摩川フォーラムの組織を100年、200年、300年と続けていかなければなりません。伝統は革新から生まれると思っております。常に新しいことを試みながら、次世代に繋げていかなければなりません。多摩川フォーラムは、12年目のスタートを切りました。私たちは、様々な活動を通しながら、次の世代にバトンタッチしていくことで、組織としての生命力を維持していかなければなりません。これを皆さんとの共通認識にしたいと思っております。引き続き、皆さんとの協力のもとで美しい多摩川フォーラムを活動していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) 有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。それでは、役員の皆様にご挨拶の拍手をお願いいたします。

10. 特別講演

(司会) それでは、お待たせ致しました。今日は、タレントで山形弁研究家のダニエル・カール副会長を講師にお迎えし、「多摩川の魅力とは？」というテーマで、お話をいただきます。それでは、ダニエル・カール副会長、よろしくお願いいたします。

(ダニエル副会長) 皆さん、こんにちわっす。ご紹介をいただきました、カリフォルニア生まれ、山形育ちのダニエル・カールでございます。本日は皆さまお疲れ様でございました。総会が終わりまして、無事にまた副会長に選ばれました。とても光栄に思っております。何もしない副会長なんですけれども、今年も頑張っていかなだレースのイベント等、時間が許す限り参加したいと思っております。今日は、「多摩川の魅力とは？」という題名ですが、私は川の専門家ではありません。国土交通省の「東北川紀行」という番組を20年くらい前に担当させていただき、東北の川をメインに色々取材させていただきました。大いに川の勉強にはなりましたが、私はレポーターとして、専門家の話を聞きに行くわけです。好きな川は沢山ありますが、私は川の専門家ではなく、プロモーションの専門家です。今日はプロモーションについて話をさせていただきます。

話は初めて日本に来た頃に戻ります。外国人が日本に来ると、根本的なことからビックリさせられます。まずビックリしたのは食べ物です。今はグルメライターもやっているのですが、横からお腹を見せたくはないのですが、41年前はたまげることが毎日ありました。見たことのない食べ物ばかりなんです。アメリカ料理は本当に簡単です。食材に、素材の形を変えないで、ちょっと火を通しただけ、ちょっと茹でただけで皿の上にポンと出して食うんです。だからアメリカ料理は一目瞭然です。豆なら豆、芋なら芋、肉なら肉、全部わかりやすいです。日本はそうじゃないですよ。必ずひと工夫、ふた工夫しています。食材をより食べやすく、美味しく、見た目を綺麗に見せるため、必ずひと工夫してから食卓に出します。だから見た目だけでわからないのが多いんです。おら、初めて豆腐を見た時、皿の上の白いものを見て、大理石の破片か石だと思いました。食べてみてビックリしました。においを嗅いでもにおわない。かじってみても歯ごたえがない。飲んでみたらズルズルとしたのだ越して、「ホントに食いもんか？」と思いました。初めて見たこんにやくもそうです。最初に見たのは玉こんにやくでした。皿の上にいっぱい乗っかっていたんですけど、「ずいぶん変わった果物だな～」と思いました。かじってみたらボヨンと反発するんです。ところてんも、四角いから最初は豆腐の仲間かなと思ったんですけども、食う前に水鉄砲みたいなものの中に入れて、ピューっとヌードルのように出して、それをお椀に入れて、つゆをちょっとかけて、辛子を付けて「はい、どうぞ」って目の前に出された時・・・、ミミズだと思いました。でも一番ビックリしたのは蒲鉾です。見た時のタイミングが悪かったんです。奈良県に留学していた時、野球で有名な学校に1年間留学していたんですけど、栗山さんのお宅でホームステイをしました。部活動は柔道部でした。黒帯まで取れました。練習は過酷で、毎日早朝練習から始まって、帰るのは19時ですから、腹空かせて帰るわけです。ある日の夕飯、最後のおかずが蒲鉾でした。普通なら皿に乗せるんですが、お母さんは、お箸で直接私のどんぶりの白いご飯の上にちょこんと蒲鉾を乗せました。私はそれを見て、「なんでお母さんは僕のご飯の上に消しゴムを乗せるんだらう・・・」と思いました。消しゴムに見えるじゃないですか、白くて周りがピンクで。歯ごたえも消しゴムっぽいです。「お母さん、何ですかこれは？」って聞いたら、「蒲鉾や～」って言われました。「何からできてるんですか？」って聞いたら、「魚だよ～」って。本当に不思議でした。日本はどこに行っても毎日たまげることばかりでした。

たまげるのは食べ物だけではなくでした。川の多さにもたまげました。東京に着いて、奈良に行くため新幹線に乗りました。皆さんは新幹線に乗ったらお弁当を食べて富士山を見ることを期待すると思うんですが、おらは何見てもビックリしてました。新幹線に乗ってすぐに気が付いたのは、どこに行っても橋ばかりなんです。「水が流れてる！川が多い！」と思いました。私はカリフォルニア州の南部から来ているので、砂漠が広がっています。川はあっても、水が流れていません。大雨で鉄砲水が流れたとしても、1日か2日で水が消えてしまいます。水なし川ばかりです。日本に来たら、水なし川なんてなくて、年中水が流れてるんです。こんなに水に恵まれている国は、日本の右に出る国はねえなと思いました。東京を出発してから京都に着くまで、川の数を数えてみようと思ひまして、一生懸命数えたんですけど、熱海あたりで諦めました。数え切れません。奈良の五條市に住んでいたんですけど、吉野川という歴史ある川が流れていて、夏になると川に遊びに行

くんです。すると皆に「ダニエル、いま日本に来て良かったね。10年前までは川で遊んじゃいけなかったんだよ。」と言われました。吉野川も高度成長で汚れていたそうです。それから各地で住む際、川のことについて聞くようになりました。大阪の淀川とか、京都では鴨川や桂川とか。やっぱり同じ事を言っていました。10年前までは近づいちゃいけなかったと。そのあと山形でも同じ事を言われました。川で遊んだり、魚を捕ったり、物を運ぶのは、日本の古くからのディープな文化です。川は汚したらいけないんです。川を無駄遣いしちゃいけないんです。41年後、完璧ではないまでも、川はかなり綺麗になりました。「東北川紀行」でもそういった話を沢山聞くことができました。東北は、東京に比べてまだ頑張りやすいところがあります。人が少なえから。人口密度が低い東北だからこそ、「汚さないように協力しましょう」と声を上げると、同調してくれます。特に山形は、最上川という母なる川が有名なんですけれども、美しい多摩川フォーラムが設立される前に、美しい山形・最上川フォーラムがすでに設立されていました。私はその組織の副会長もしています。山形県民として、最上川は大事です。珍しいのは、一つの県で源流から河口まで流れているんです。だから、一心同体の気持ちをつくるのが比較的楽なんですよ。うちの女房は米沢の人間です。最上川の上流で、城下町なんです。お城やお堀、水路があって、400年前に大きくなった街なんだけれども、その前は伊達家やら長井家やら、とにかくお城で1000年以上の歴史があるところなんです。そのあと、どんどん街を新しくして、下水道を引くことになっても、地下に水路が流れているところが結構あるんです。生活水路がどこに流れているか、良くわかんねえところが今でもあって、米沢は水が一番汚ねえらしいですよ。上流の水が汚いんですから、中流域の人たちが頑張ったりするんだども、米沢の人たちが頑張んなければなんねえですよ。米沢の人たちは白い目で見られてるんだから、もっと頑張んなげればならねえってこと。20年前から力を入れて、水質を検査して、昔の水路がどこにあるのか、下水道がそこに間違っ入ってないだろうかを調査して、最上川上流はどんどん綺麗になりつつあります。義理のお父さんが教育長をやってまして、「米沢頑張ってた」とさんざん言われました。

一方、多摩川は大変ですよ。東京都と神奈川県に挟まれ、最上流は山梨県です。区市町村がどれくらいあるんでしょうか。結構ありますよね。でっかい自治体もあれば、ちっちゃい自治体もある。私の事務所は世田谷区にあるんですけれども、隣は狛江市や大田区、神奈川県側には川崎市もあります。とにかく、多摩川の下流は大都会や工場に面しているところが多いんですが、上流にいけば良い田舎の風景なんですよ。青梅市なんて、山形みたいところで、行くたびに里帰りしているような気分になったりして、本当に良いところですよ。でも、バラバラなんです。このバラバラを良くする、一心同体をつくるためのサジェスションとして、私も一応テレビに出ている人間ですから、プロモーションのアドバイスとして、もっと自慢したらどうでしょうか、多摩川のことを。今日も自慢話が出ましたが、ここだけで自慢してはいけません。もっと外で自慢して、桜が綺麗！とか、川を水質調査で調べてんだぞ！とか、大きな声で言わないとダメなんですよ。なしてこんな話をするのかと言いますと、僕も山形の宣伝で、同じようなポリシーを持って、お陰様で最近山形が有名になりました。おらは昔から山形のことを自慢していたんです。全国47都道府県まわって講演などもしますが、いつも大きな声で「山形はええとこだあ〜」と言ってます。だって山形は綺麗ですよ。

各市町村に温泉が湧く山形、フルーツ王国山形など。フルーツの中でもさくらんぼが有名ですが、それで終わるわけではなく、次から次へと、12月の庄内柿まで、県内では何かが旬をむかえます。さくらんぼ、ブドウ、アケビ、スイカ、メロン、洋ナシ、リンゴ、柿。6月から12月まで県内で何かが旬になってます。こんなこと自慢できるのは、全国で山形県だけなんです。ただ、気が付いたのは、山形を自慢してたのはオラひとりしかいなかったんだあ…。山形県民はちっとも山形のことを自慢しなかったんですよ。40年前、山形のことを聞かれるとちっちゃくなって、「どこのご出身ですか？」と聞かれると、「えっ？……山形です…」となるんです。「各市町村に温泉あるし、果物は豊富だし、米どころに蕎麦どころ、牛肉も美味いじゃないですか。日照時間も長くて、日本一もち肌で、美人が多い山形県じゃねえか。ええところじゃないですか。」と言われても、「いいえ、なんもねえ…」と、こうなるんです。「なんもねえ」、これがキーワードです。これがいわゆる日本の美德、「謙遜」です。これが、大切なお国自慢心とぶつかり合うところです。おらが言いたいのは、「謙遜」は日本の美德だけれども、幅広く使いすぎると何も自慢ができなくなってしまいます。大切なのは、バランスです。40年前に初めて日本に来て奈良に住んだ時、このバランスが上手く取れてました。謙遜もするけど自慢もしました。そのあと大坂、京都、佐渡島でもそうでした。そのバランスが良かったから、大いに日本を勉強できました。街のどこに行っても、「この街の名物は何でしょうか？」と聞くと、「なんもねえ。けどご案内しましょう。」と言ってくれました。心配したのはバブルの後。このバランスが全国で崩れてしまい、何も自慢しなくなってしまいました。日本の未来や経済はどうなるのかと心配になって、それから10年間は何も自慢しなくなりました。

幸い、最近はまだバランスがちょっと戻ってこようとしているところです。私はこれが良いチャンスだと思います。来年、オリンピックが日本にやってきます。6年後には大阪に万博がやってきます。日本にやってくる外国人も沢山いらっやいます。良いチャンスだからこそ、外国人にもっと自慢してほしいです。世界一の交通網を持っている日本、食文化も寿司など、すでにブームになっています。残念ながら、納豆はまだアメリカで流行らないんだけれども、日本のイメージアップに繋がる良いチャンスです。多摩川の一心同体を高めるためにも、もっと多摩川のことを自慢してみたいかがなものでしょうか。美しい多摩川100年プランがあります。その時、おらたちはもう居ねえけれども、美しい多摩川フォーラムは何年目ですか？12年目ですね？それじゃ、残りの88年は自慢心を大事にしてください。桜や水質調査、カヌーなど。特に狛江市のいかだレースをもっと自慢してください。今年で29回目ですよ？僕は19回目から参加していますから、今年で11回目。頑張ります。もっといかだを軽化したほうが良いと思いますよ。相当重いですから。とにかく、自慢してください。自慢はえぱりではないんです。川が汚れていた時、良く皆さんが言ってましたね、「経済のために川が汚れるなら仕方ない」と。仕方ないんです。仕方があると思っただければと思います。多摩川をより経済的に、より綺麗に、より文化的に、皆さんに喜ばれる川にするために頑張ってください。上杉鷹山が言っていました、「為せば成る（為さねば成らぬ）何事も…」と。それと同じような考えだと思いますが、ぜひそれを守ってやってください。これからも頑張りますよ！以上です。

(司会) ダニエル・カール副会長、大変楽しく、ためになるお話、有り難うございました。今一度温かい拍手をお願いいたします。

11. 意見交換

(司会) 次に、意見交換に入りたいと存じます。細野会長はご登壇ください。

(細野会長) ダニエル副会長、有り難うございました。英語で言うと、「プライドを持って」ということでしょうか。確かに、バブルを境に日本人は元気を無くしました。やはり自分の主張もしなければならぬということです。プライドを持って主張しましょう。それでは、この機会に、今後のフォーラム活動を展望して、皆様からご意見・ご要望等を頂戴したいと存じます。…。特にないようでしたら、何かあれば事務局へご意見をお寄せください。

(事務局) 細野会長有り難うございました、ご降壇ください。それでは司会者にバトンタッチいたします。

12. 会長総括

(司会) さて、早いもので、総会のお開きの時間も迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

(細野会長) 谷川先生の詩の中に、「人々の心ゆるく結んで」とあります。無理をせず、自然に、皆さんと共に美しい多摩川フォーラムを盛り上げていきたいと思えます。皆さん、予算を見てお分かりのように、本当に少ないです。しかしその効果は、予算額に0が2つか3つ付くくらいだと思います。皆さんがボランティアで多摩川を中心とした地域の活性化を図っています。100年という長期間で実現していきましょう。何回も申し上げますが、100年プランは何百年も続いていかなければなりません。地球の人々が、「多摩川はこんなに素晴らしい活動をしてきたんだ、私たちも見習っていこう」と言ってもらえるような運動にしていきたいと思えますので、どうかよろしく願いいたします。

13. 閉会挨拶

(司会) 有り難うございました。それでは閉会挨拶としまして、平岡副会長をお願いいたします。

(平岡副会長) 会員の皆さま、本日は、朝早くから、美しい多摩川フォーラム令和元年度総会にお越しいただき、誠に有り難うございました。提出させていただいた3議案につきまして、すべてご承認いただき、いよいよ新しい事業が始まります。そこで、皆さんにお願いですが、ぜひこの地域、そして多摩川を知っていただくために、ひとつでも多くの事業に参加していただき、先ほどダニエル・カール副会長が言われたように、自慢するためには参加して、見て、感じて、発信をしていた

だきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは、これをもちまして閉会の挨拶と代えさせていただきます。有り難うございました。

14. 閉会

(司会)皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂き、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・令和元年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上